

都議選・最終予想版

- 2面 都議選・新宿選挙区は熾烈
- 9面 都議選有力6候補にアンケート
- 10面 <五輪フラッグが新宿に/> 地域を支えるオリンピック・パラリンピック
- 7面 地域住民の健康を守る新宿区医師会

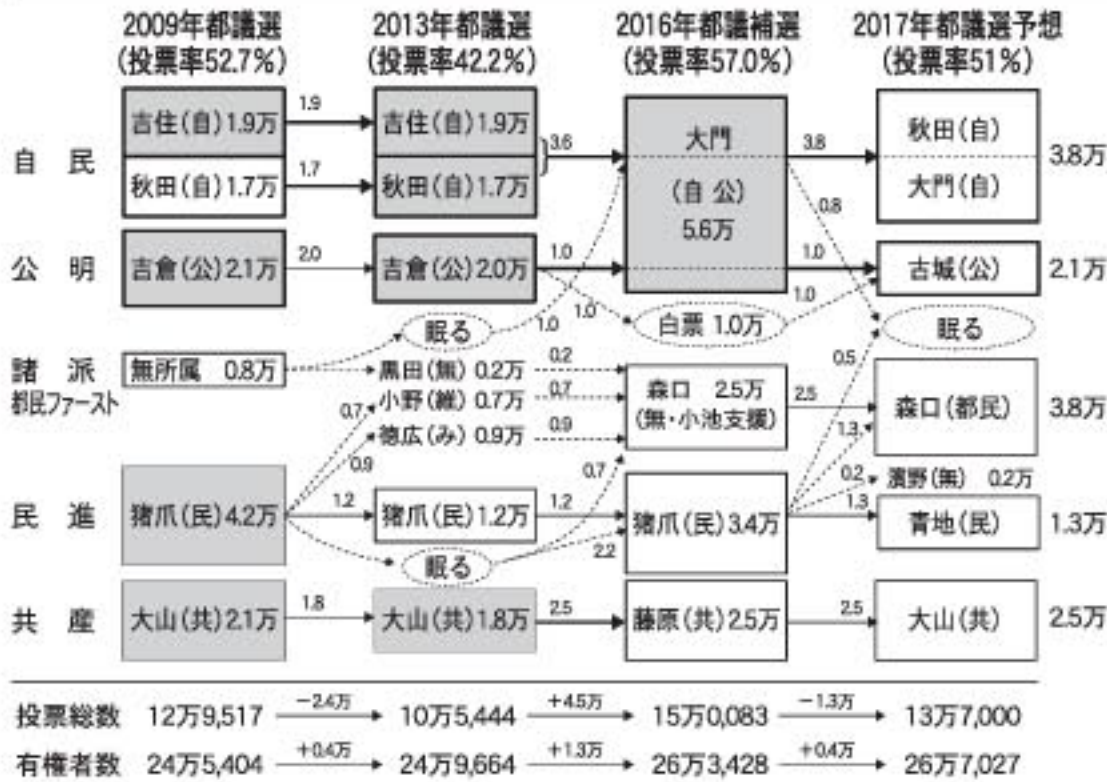
週刊

新宿新聞

THE SHINJUKU SHINBUN

購読料6ヵ月4,000円、毎月5日の発行、創刊63周年 電話3369-6195 FAX3369-0759 (昭和32年12月4日第3種郵便物認可)

6月28日 社章
2017年(水曜日)
(第2017号)
発行所 新宿区新聞社
編集・発行人 喜田 勇
新宿区西新宿1-7-25
ワコーレ新宿第2ビル



自民“大逆風”の都議選

小池都知事率いる都民ファーストが今回、都議選を席巻、都議会定数128の過半数84をファースト41と公明23議席で占めようと勢いづいている。現有57議席で都議会第一党を占めていた自民党には“大逆風”だ。自民は「決められない都知事」と攻勢を強めていたが小池知事が「豊洲移転、築地再開発」を決めてからは的を失った。今では「知事のイエスマン議員ではダメ」と都民ファーストに攻勢をかけている。一方、ファーストは都議会の刷新を掲げ、「旧い体質議員の取り換え」「政策決定過程の情報公開」で戦況を有利に導いている(敬称略)。

小池新党の“風”止まず

組織票と無党派票争奪が熾烈!

都議選・新宿選挙区はの計7名が出馬する。小池知事の姿勢を自民は「批判。都民ファーストは率はずばい。情勢は大きく変わらないうちに、地味市場の豊洲移転問題だ。小池人気と有権者の民進(新)、無所属(新)で、対応が決められない。連動せず「都民ファースト」の支持。民2人の現職率(17%)の自民合計票を大きく下回っている。千原台を回った。それが勢いだ。

森口(都民ファースト)がトップへ 自民は秋田が優勢、大門は劣勢



新宿駅東南口で演説する小池百合子都知事

自民2人が当選争う 都民ファーストの森口が加わったことで、当落を激しく争っている。保の全盛寺、27日の、22日と地元との対話集会を積み重ねるなど、地道な活動を行っている。

小池人気とファーストはちがう

倉正美からのバトンタッチを受けての選挙だ。「公明は1期目の藤井雄、3期目の吉倉正美の計14期54年間に渡り、新宿選挙区において豊洲の1議席を守り続けた」と古倉都議は古城の事務所開き(20日)で、そう挨拶した。いわば新宿は公明の最重要地区だ。

候補	所属	職歴
古城 将夫	公明	37 党本部広報宣伝局長
青地 真美	民進	50 大学教授
大山 とも子	共産	61 都議会議員
大門 幸恵	自民	48 都議会議員
森口つかさ	都民	35 会社役員
秋田 一郎	自民	51 都議会議員
濱野 秀昭	無所属	37 会社役員

今回都議選は小池都知事を誕生させた昨夏の都議補選の投票率57%より低く、民進政権を誕生させた09年都議選の53%より2%低い51%へ、都議補選では自民の大門が5・6万とトップだったが公明票を多く含んでのこと。今回は公明票2万が抜けるので自民合計票は3・8万票。これを秋田と大門の2人が分け合う。組織票に強い秋田が優勢だ。都民ファーストの森口は小池知事が新宿で奪った6・9万票の半分強に迫る勢いだ。民主の青地は16年補選の猪爪票3・4万には届かず得と皮となった13年の猪爪票に近い。共産の大山は13年の大山票1・8万を底に、無所属派に食い込んで16年補選の藤原票2・5万票に近づいている。

政権下での加計学園問題などを機に安倍政権の弱みが目につく。民進党は16名の公認候補が都民ファーストへの猪爪まさみか母の介護に付きあう。戦後、厳しい選挙戦から出場を見送り。自民の森口は、13年に大敗した選挙補した。青地は上智大学15議席をさらに大きく下回るのは必至。

大門(自)と青地(民)が競う! 無党派女性票 大山(共)も狙う

都民ファーストによる両海江田万里・前衆議院議員の戦いに巻き込まれ、動く女性の支持を得て、大門と女性票を分け合っている。13年都議選で民進(当時・民主)が獲得した1万2千票を上回り1万3千票に近づいている。民主は選挙経験を持つ

また小池都知事が豊洲移転を決める中、「豊洲移転反対」を打ち出しているのは共産だけだ。無党派層の中から「豊洲移転反対」層を取り込み、前回票1万8千票を7千票上回る2万5千票を奪回する。勢いがある。このほか新宿では他に無所属から濱野秀昭が出馬する。